

Title	高橋智教授略歴・業績目録
Sub Title	Biographical resume & list of publication of Professor Satoshi Takahashi
Author	高橋, 智(Takahashi, Satoshi)
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	2022
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.123, No.2 (2022. 12) ,p.[i]- xvi
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	高橋智教授退任記念論文集
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230002--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-01230002--005</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

高橋智教授

略歴・業績目録



## 略歴（二〇二二年一〇月現在）

### 【学歴】

- 一九五七年七月十日 宮城県仙台市生まれ
- 一九六四年四月一日～一九七三年三月三十一日 仙台市・福島県喜多方市、原町市、三春町の小中学校に在学
- 一九七三年四月一日～一九七六年三月三十一日 福島県立安積高等学校・宮城県古川高等学校に在学
- 一九七八年四月一日～一九八三年三月三十一日 慶應義塾大学文学部中国文学科に在学
- 卒業論文「『義』を中心としてみた趙岐に於ける諸観念の検討」（指導・村松暎教授）
- 一九八四年四月一日～一九八六年三月三十一日 慶應義塾大学大学院文学研究科修士課程に在学
- 修士論文「孟子古註攷」（指導・村松暎教授）
- 一九八六年四月一日～一九九〇年三月三十一日 慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程に在学（単位取得退学）
- 一九八六年九月一日～一九八八年九月三〇日 中国上海復旦大学古籍整理研究所高級進修生
- 二〇〇八年五月 「室町時代古鈔本『論語集解』の研究」で博士（文学）取得（主査佐藤道生教授）

\*大学では、中国および中国人について、を村松先生に学び、中国語は藤田祐賢・岡晴夫・山下輝彦先生に学び、附属研究所道文庫の阿部隆一先生・大沼晴暉先生には和漢書誌学を学ぶ。上海では、章培恒先生が指導教授で兼任教授であられた上海図書館名誉館長の顧廷龍先生に中国版本学を学んだ。

## 【職歴】

- 一九八九年四月一日～一九九六年三月三十一日 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫助手  
一九九六年四月一日～一九九九年三月三十一日 同専任講師  
一九九九年四月一日～二〇〇九年三月三十一日 同助教  
二〇〇四年二月一日～三月三十一日 台湾師範大学訪問研究員（台湾交流協会派遣）  
二〇〇四年四月一日～現在 早稲田大学非常勤講師  
二〇〇九年四月一日～二〇一七年三月三十一日 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授  
二〇〇九年八月一日～二〇一〇年三月三十一日 中国北京大学古文獻研究所特聘研究員（慶應義塾大学との交換教員）  
二〇一七年四月一日～現在 慶應義塾大学文学部教授

## 【その他の役職】

公益財団法人大倉文化財団大倉集古館評議員 公益財団法人永青文庫評議員

## 研究業績

研究の対象は、中国古典籍（漢籍）のテキスト（版本）を中心とし、現所在の調査や流伝、その価値を追究しようとするものである。中国宋時代（九六〇～一二七九）から清時代（一六四四～一九一一）にわたる、主に印刷本の研究である。更に、それらが日本に伝わって影響を及ぼした、主に室町時代を中心とする古写本、近世初期の古活字版、江戸時代のいわゆる和刻本をめぐる研究には、相当の労力を傾けた。『孟子』のテキストの比較校勘を行った際には、精魂尽き果て、胃炎を患った。かつて江戸享保時代、山井崑崙という学者が足利学校で儒教經典の比較校勘を行って、愛媛西条藩に戻り、程なくして世を去ったことを想起した。また、中国の「文献学」、日本の「書誌学」は、それぞれ深い領域を包含するが、その一端を学び、得たものを平易に伝えることにも力を注いだ。昨今、中国の若い研究者が、日本の「書誌学」に関心を抱き、大いに吸収・研究される様子は、一衣帯水の思いを新たにさせられる。以下、内容・形式的な分類をもつて、発表したものを並べておく。◎印は単著。

### 《書誌校勘学研究》

「旧抄本趙注孟子校記」(一)(二) 「斯道文庫論集」第二四輯(277～365頁) 一九九〇年三月・同二六輯(145～207頁) 一九九

二年三月

「古活字版趙注孟子校記」 「斯道文庫論集」二八輯(139～227頁) 一九九三年一二月

「五山版趙注孟子校記」 「斯道文庫論集」二九輯(269～310頁) 一九九四年一二月

「慶長刊論語集解の研究」 「斯道文庫論集」三〇輯(107～207頁) 一九九六年一月・同三一輯(81～247頁) 一九九七年一月

- 「慶長刊大学中庸章句の研究」 「斯道文庫論集」第三二輯（95～216頁）一九九八年二月
- 「安田文庫蒐集古鈔本『論語集解』について」 「藝文研究」第八七号（1～23頁）二〇〇四年二月
- 「室町時代鈔本論語集解の研究」 「斯道文庫論集」第四〇輯（143～200頁）二〇〇六年二月
- 「清原家伝来室町時代鈔本『論語集解』について——清原宣賢手定本の伝鈔——」
- 「藝文研究」第九一号第一分冊（84～109頁）二〇〇六年二月
- 「台湾故宮博物院所藏 楊守敬觀海堂旧藏 室町時代鈔本『論語集解』について」
- 「斯道文庫論集」第四一輯（115～163頁）二〇〇七年二月
- 「室町時代後期清原家伝来古鈔本『論語集解』について——清原枝賢本の伝鈔——」
- 「日本漢文学研究」（二松学舎大学COEプログラム）第二号（1～29頁）二〇〇七年三月
- 「正平版『論語』と古鈔本『論語集解』」 「斯道文庫論集」第四二輯（131～179頁）二〇〇八年二月
- ◎ 「室町時代古鈔本『論語集解』の研究」 汲古書院 二〇〇八年九月 334頁
- 「南北朝時代古鈔本『論語集解』の研究——猿投神社所藏本の意義——」 「斯道文庫論集」第四三輯（153～180頁）二〇〇九年二月
- 「台湾故宮博物院所藏觀海堂旧藏 日本古鈔本『論語集解』之価値」
- 「故宮學術季刊」二五卷四期（107～131頁）民国九七年（二〇〇八年）夏（中文）
- 「日本慶長時期漢籍活字本出版的意義——以《四書》為中心」
- 「北大史學」一四（北京大學歷史系）（18～32頁）二〇〇九年二月（中文）
- 「日本室町時代鈔本『論語集解』の研究」
- 「國際漢學研究通訊」二期（北京大學國際漢學家研究基地）（148～165頁）中華書局二〇一〇年一〇月（中文）
- ◎ 「日本室町時代古鈔本『論語集解』研究」
- 日本《論語》古鈔本綜合研究之一（1～133頁）（中文・楊洋訳）北京大學出版社二〇一三年六月

「日本南北朝（一三三六～一三九二）時代古鈔本『論語集解』——猿投神社所蔵本之意義——」

「從鈔本到刻本・・中日『論語』文献研究」（日本『論語』古鈔本綜合研究之二）（111～131頁）北京大學出版社二〇一三年六月

「真言宗御室派総本山仁和寺御所蔵慶長刊本『四書』の研究」『斯道文庫論集』第四八輯（71～95頁）二〇一四年二月

「明清内府本看過録」『清朝宮廷演劇文化の研究』（539～556頁）磯部彰編 勉誠出版 二〇一四年七月

「日本南北朝時代写本『論語集解』概略」『中国典籍日本古写本の研究』newsletter No.1 二〇一四年七月

「莊内藩致道館旧蔵漢籍について」『斯道文庫論集』第四九輯（49～95頁）二〇一五年二月

「慶長刊漢籍古活字本研究資料——斯道文庫所蔵本について——」『斯道文庫論集』第五〇輯（35～98頁）二〇一六年二月

「南北朝時代古鈔本『論語集解』の研究——台北故宮博物院所蔵楊守敬觀海堂本について——」

「藝文研究」第一一一号（37～46頁）二〇一六年十二月

「漢籍外典古写本研究資料——斯道文庫所蔵本について——」『斯道文庫論集』第五一輯（1～32頁）二〇一七年二月

「愛知県一宮市木村家蔵〔鎌倉末南北朝〕写論語集解について」『中国典籍日本古写本の研究』newsletter No.4 二〇一八年一月

「名古屋市蓬左文庫所蔵 寫本『論語』二種について」『中国典籍日本古写本の研究』newsletter No.5 二〇一九年十一月

「北朝・貞和年間（一三四五～一三四八）〈南朝・正平二～四年〉奥書鈔本『論語集解』——東洋文庫所蔵藤〔原〕宗重識語本、藤堂家旧蔵焼失本——」『典籍日本古写本の研究』newsletter No.7 二〇二二年三月

### 《版本目録学研究》

「韓本趙注孟子について」『汲古』一二（汲古書院）一九八七年十二月

「惠棟校本春秋公洋注疏について」『斯道文庫論集』第二三輯（225～242頁）一九八九年三月



「抱残守闕責在後人——島田翰の奇書——」「汲古」二〇（汲古書院）一九九一年十二月

「安井文庫研究之二、塩谷宥陰・木下犀譚批評安井息軒初稿『讀書余適』」「斯道文庫論集」第三三輯（1～122頁）一九九九年二月

「安井文庫研究之二、安井家の蔵書について」

「斯道文庫論集」第三五～三七輯（189～257頁、239～348頁、125～154頁）二〇〇〇～二〇〇三年二月

「根本通明先生蔵書紀略——根本文庫研究之一・二——」

「斯道文庫論集」第三八輯（165～202頁）二〇〇四年二月・同第三九輯（91～195頁）二〇〇五年二月

「永島栄一郎氏旧蔵中国語言学資料について」「慶應義塾大学言語文化研究所紀要」三四 二〇〇二年十二月

「森鷗外『小嶋宝素伝』補」「藝文研究」第六五号（355～378頁）一九九四年三月

「顧廷龍批注『涵芬楼燼余書録』——中国版本学資料研究——」「斯道文庫論集」四五輯（1～36頁）二〇一一年二月

「内閣庫存書目について——中国版本学資料研究——」「斯道文庫論集」四六輯（269～318頁）二〇一二年二月

「京師図書館善本簡明書目・稿本について——中国版本学資料研究——」「斯道文庫論集」四七輯（1～87頁）二〇一三年二月

「清・嘉慶年間（19世紀初頭）刊刻『十三經注疏』の版本について」「藝文研究」第一〇五—一〇号（114～127頁）二〇一三年

十二月

「種徳堂本『春秋経伝集解』について」「高田時雄教授退職記念 東方学研究論集」（143～152頁）臨川書店 二〇一四年六月

「漢籍を支えてきた蔵書文化」「ピブリア」一四二号 天理図書館 二〇一四年一〇月

「朱印本『滂喜斎蔵書記』について——中国目錄学研究資料——」

「稲畑耕一郎教授退休記念論集中国古籍文化研究」（29～35頁）東方書店 二〇一八年三月

「致道館蔵書の世界」（二〇一五年六月二〇日鶴岡市立図書館講演録）

「通史の中の庄内」——鶴岡市立図書館一〇〇周年記念歴史講演会講演録——鶴岡市立図書館・鶴岡市郷土資料

館・二〇一七年三月

〔宋元版の鑑定〕（杏雨書屋開館四十周年記念 第四十回研究会講演録）

〔杏雨〕第二二号 公益財団法人武田科学振興財団 二〇一九年五月

《書誌解題研究》

〔新蒐古鈔本孔伝古文孝経〕「三田評論」九三七 一九九二年六月

〔宋末元初の『広韻』〕「三田評論」九八七 一九九七年一月

〔宋版史記・漢書・後漢書・古鈔本史記〕「週刊朝日百科」五〇（朝日新聞出版社）一九九八年二月

〔静嘉堂文庫所蔵『王右丞文集』解題〕米山寅太郎共著 汲古書院 二〇〇五年九月（古典研究会叢書漢籍之部三二）

〔静嘉堂文庫所蔵『李太白文集』解題〕米山寅太郎共著 汲古書院 二〇〇六年一〇月（古典研究会叢書漢籍之部三七）

〔影印日本『論語』古鈔本三種解題〕 北京大学出版社 二〇一三年六月

〔東洋文庫所蔵正和四年本『論語集解』書誌解題〕 汲古書院 二〇一七年三月（古典研究会叢書漢籍之部四）

〔『音注孟子』解題〕（五山版趙注孟子校記「斯道文庫論集」二九輯（269～310頁）一九九四年一二月の解題のみ中国語翻訳）

北京大学出版社 二〇一八（1589～1608頁）（日本五山版漢籍叢刊第一輯）

〔『孟子趙氏注』解題〕（韓本趙注孟子について「汲古」一二（汲古書院）一九八七年一二月の中国語翻訳）

北京大学出版社 二〇一八（1609～1616頁）（日本五山版漢籍叢刊第一輯）

〔永青百冊〕「季刊永青文庫」二〇〇八年秋号（六四号）〈継続中〉

《研究発表・講演・シンポジウム》

〔清朝における十三経注疏校刻の一校察〕 慶應義塾大学藝文学会 一九八九年六月

- 「正平版論語について 丸善日本中世印刷史展」一九九八年一月
- 「安井息軒について」宮崎県慶応三田会 一九九九年一〇月
- 「幕末の校勘学について」東アジア出版文化の研究シンポジウム（東北大学主催・於仙台）二〇〇三年一月
- 「東アジアの出版と地域文化シンポジウム・パネラー」二〇〇六年度科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果公開発表（A）二〇〇六年八月六日・七日於パシフィコ横浜 「東アジアの出版と地域文化―むかしの本のものがたり―」（磯部彰編・汲古書院・二〇〇八）に所載
- 「中国古籍流通学について」中唐文学会大会 二〇〇六年一〇月七日於杏林大学
- 「中国の書物における展示と政治」国立民族学博物館共同研究会主催―展示という語りの多様性と政治性に関する研究― 二〇〇七年九月八日
- 「日本中世五山版と知識層の形成」日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業 東北大学東北アジア研究センター主催（伊達市噴火湾研究所共催）―セミナー東アジアむかしの本のものがたり―二〇〇七年九月二十九日
- 「台湾故宮所蔵観海堂旧蔵日本古鈔本『論語集解』の価値」台湾国立故宮博物院・淡江大学主催―再造と衍義・文献学国際学術研討会―二〇〇七年一月一五・一六日
- 「宋版の受容と日本の漢学」京都大学二一世紀プログラム東アジア世界の人文情報学研究教育拠点―漢字文化の全き継承と発展のために―京都大学人文科学研究所主催「漢字文化三千年」国際シンポジウム二〇〇七年一月一〇―一二日
- 「日本慶長期漢籍活字本出版の意義」（中国語） Beijing Forum 二〇〇八（北京論壇）―北京大学主催―（二〇〇八年一月六日―九日）二〇〇八年一月八日、北京大学歴史系（辛徳勇主催）に於いて発表
- 「一六世紀末至一七世紀初日本慶長期漢籍活字本出版の意義」日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業 東北大学東北アジア研究センター・韓国高麗大学中国学研究所・中国復旦大学中国古代文学研究中心共催 二〇〇八年九月二一日於復旦大学発表

「中日古籍交流史―以宋刻本為中心」(中国語) 中国国家図書館中国古籍保護センター講座 二〇〇九年二月一六日(於中国国家図書館)

「宋刻本在日本流伝之意義」(二〇〇九年二月三〇日・中国語) 北京大学古文獻研究所講座(於北京大学)

「日本漢籍古鈔本概説」(二〇一〇年三月一九日・中国語) 北京大学古文獻研究所講座(於北京大学)

「和刻本入門」(二〇一〇年三月一九日・中国語) 北京大学海外漢學研究基地講座(於北京大学)

「中日古籍交流史―宋刻本与五山版」(二〇一〇年三月二六日・中国語) 北京大学海外漢學研究基地講座(於北京大学)

「日本流伝論語小考―正平版与古鈔本」(二〇一〇年三月九日・中国語) 中国典籍与文化國際學術研討会(北京大学・米国立

エール大学共催、於北京大学)

「和刻本入門」(二〇〇九年十二月三日・中国語) 復旦大学古籍整理研究所古文獻・新視野系列講座(於復旦大学)

「中日古籍交流史之一側面―宋刻本与日本漢學」(二〇〇九年二月四日・中国語) 復旦大学古籍整理研究所古文獻・新視

野系列講座(於復旦大学)

「中国書誌学の發展と現状」 韓国延世大学人文学研究院講演 二〇一一年六月一〇日於延世大学

「清朝宮廷藏書について」 二松学舎大学人文学会第一〇三回講演 二〇一一年七月九日於九段校舎

「清宮藏書一斑」(中国語) 故宮学の範疇体系方法研討会(二〇一一年一月一〇〜一二日) 北京故宮博物院故宮學研究所

主催

「日本南北朝古鈔本『論語集解』の研究―猿投神社所藏本の意義」(中国語) 中日『論語』文獻研究學術研討会 北京大学

中国古文獻研究中心主催 二〇一一年二月一七日於北京大学中関新園

「清宮内閣藏書一斑」(中国語) 第一四期社会と文化國際學術研討会 台湾淡江大学中国文學系 二〇一二年五月四日於

台北淡江大学

「顧起潛先生批校『涵芬樓燼餘書録』」(中国語) 語文と文獻國際學術研討会 二〇一二年二月八日於台湾大学

- 「室町時代の足利学校と論語」平成二五年度足利学校アカデミー 二〇一三年六月二二日於足利市生涯学習センター
- 「種徳堂本『春秋経伝集解』について」宮内庁書陵部收藏漢籍伝来に関する再検討合同成果報告会 二〇一三年二月七日於東京大学東洋文化研究所
- 「日本南北朝（一四世紀）書写『論語』古写本の現状」中国典籍日本古写本研究（科研A）ワークショップ 二〇一四年一月二五日於東京国立博物館黒田記念館
- 「中国絵入り本の歴史と諸問題」リスボン新大学・慶應義塾大学共催ワークショップ『東と西の絵入り本』 二〇一四年一月二八日於リスボン新大学
- 「漢籍を支えてきた蔵書文化」天理ギャラリー第一五二回展『漢籍と日本人』講演 二〇一四年五月三一日於天理ギャラリー
- 「江戸時代藩校旧蔵書一斑」二松学舎大学人文学会第一〇九回大会講演 二〇一四年七月一二日於二松学舎大学九段キャンパス
- 「日本の漢籍受容と古写本」岩崎コレクション展示会記念講演会 二〇一四年一月三〇日於東洋文庫
- 「漢籍版本目録学について」国立国会図書館 二〇一五年三月一八日於古典籍資料室
- 「古典籍の流通と蔵書文化」韓国延世大学人文研究院講演会 二〇一五年四月三日於延世大学
- 「致道館蔵書の世界」鶴岡市郷土資料館 図書館開館一〇〇周年記念講演会 二〇一五年六月七日於鶴岡市立図書館
- 「中国典籍の流通」大東文化大学漢学会春季大会講演会 二〇一五年五月二七日於東松山校舎記念講堂
- 「活字印刷の重宝―古活字版漢籍について」第二七回慶應義塾図書館貴重書展示会「活字文化の真髄」講演会 二〇一五年一月一日於丸善丸の内本店
- 「『論語』のテキストについて」実践女子大学・短期大学部公開市民講座 二〇一五年一月三〇日於実践女子大学渋谷校舎
- 「中国古典籍の大改革―写本から刊本へ―」明星大学国際シンポジウム「世界の写本・日本の写本」 二〇一七年一月九日

於明星大学日野キャンパス

「足利学校と古写本―中世漢籍の文化」二〇一七年度足利学校アカデミー二〇一七年六月二四日於足利市生涯学習センター

「安井息軒と安井文庫」二〇一八年度安井息軒記念講演会（宮崎市安井息軒記念館主催）二〇一八年九月二三日於宮崎市清武文化会館小ホール

「宋元版の鑑定」杏雨書屋開館四〇周年記念 第四〇回研究講演会 二〇一八年一〇月一三日於大阪武田科学振興財団「年号と漢籍」元号―史跡足利学校企画展基調講演 二〇一八年二月一八日於史跡足利学校

「熊本県立図書館保管漢籍細川文庫について」くまもと文学・歴史館企画展「武士の教科書―永青文庫寄託漢籍資料から―」講演 二〇一九年二月一〇日於くまもと文学・歴史館

「漢籍と文庫―東洋文庫を中心として―」漢字展―四〇〇〇年の旅 講演 二〇一九年六月二三日於東洋文庫「古書の復元―中国典籍の場合」第一四回鍼灸学校教員のための古典講座 二〇一九年八月一七日於北里大学東洋医学総合研究所

「宋版の受容と日本の漢学」韓国延世大学人文研究院 講演 二〇一九年二月六日「日本江戸時代（一七〜一九世紀）出版文化上の清代考証学之影響」（中国語）東亜漢文献与文化交流国際学術研討会 中国教育部人文社会科学重点研究基地四川大学中国俗文化研究所 二〇二一年一〇月三〇日・三一

日

《書誌学一般》

「服部大方軼事―松崎懺堂の書簡―」「斯道文庫論集」第三四輯（367〜392頁）二〇〇〇年二月「中国書誌学の現状」二松学舎大学東洋学研究所集刊第三〇集（203〜221頁）二〇〇〇年三月

「論語の世界―現代に生きる論語―」第一九回慶應義塾図書館貴重書展示会図録解説 二〇〇六年一月

- 「武士道と『論語』」 徳川將軍家の学問―紅葉山文庫と昌平坂学問所―（二〇〇六年二月二八日～三月二六日江戸東京博物館展示 図録）二〇〇六年二月二八日財団法人徳川記念財団
- 「文書の世界 紙背・零本・零巻・断簡・残葉―抱残守闕の意味」 極東証券寄附講座「古文書の世界」 関場武編（5～17頁）二〇〇七年五月
- 「古籍流通の意義―善本と蔵書史―」 「中国古籍流通学の確立―流通する古籍・流通する文化」 早稲田大学中国古籍文化研究所編 アジア地域文化学叢書（22～51頁） 雄山閣 二〇〇七年三月
- 「岩元文庫の魅力―偉大なる暗闇と美しさ―」 「南風」（鹿児島大学図書館報六三号 二〇〇八年六月）
- 「宋版の受容と日本の漢学」 「漢字文化三千年」（高田時雄編・臨川書店・二〇〇九年七月・311～341頁）
- ◎「書誌学のすすめ―中国の愛書文化に学ぶ―」 東方書店 二〇一〇年九月三〇日 274頁
- 「古籍流通的意義―善本和蔵書史」 「中国典籍与文化」 総七二期（全国高等院校古籍整理研究工作委員会） 二〇一〇年一月（96～108頁）（中文）
- 「日本流伝中国古籍簡述」 「文史知識」 二〇一〇年第三期 二〇一〇年三月（83～90頁）（中文）
- 「百年守望に学ぶ」 「東方」 三五五号（東方書店） 二〇一〇年九月
- 「大事小辨、急事緩辨」 「日本古書通信」 九八〇号（日本古書通信社・二〇一一年三月）
- 「漢籍と料紙」 「必携古典籍古文書料紙事典」（安倉佐敏編著・八木書店・二〇一一年七月・283～287頁）
- 「書物文化の真・善・美」 「東京人」 三〇三号（二〇一一年三月）
- 「中国書誌学の発展と現状」 「人文科学」 九四号（韓国延世大学・二〇一一年九月・日本語）
- 「皇帝文化の象徴―台湾故宮博物院―」 「月刊みんぱく」 第三六卷三号（国立民族学博物館・二〇一二年三月）
- 「漢籍の書物搜索」 「書物の来歴、読者の役割」（松田隆美編・慶應義塾大学文学部・極東証券寄附講座 文献学の世界・二〇一三年九月・181～193頁）

「古籍流通の文化史」「東アジア書誌学への招待」（大澤顕浩編・学習院大学東洋文化叢書・二〇一一年一月・東方書店・235～248頁）

「戦争と書物」「戦争の教室」（松本彩子編 月曜社 二〇一四年七月 152～156頁）

「漢籍 愛書文化の真髄はここにあった―蔵書家が伝えた至宝」「東京人」二〇一五年一月 都士出版

「日本所在漢籍に見える東アジア典籍流伝の歴史的研究―宮内庁書陵部蔵漢籍の伝来調査を中心として―」「明日の東洋学」（東大東文研附属東洋学研情報センター）三四号 二〇一五年一〇月

「活字文化の真髄―日本の古活字版と西洋初期印刷―」第二七回慶應義塾図書館貴重書展示会図録解説 二〇一五年一〇月

◎「海を渡ってきた漢籍―江戸の書誌学入門―」日外アソシエーツ 二〇一六年六月二十五日

「文化財としての漢籍―文化庁所蔵宋刊唐柳先生文集に出会って―」「東方」四五四号（東方書店）二〇一八年二月

「中国蔵書家のはなし―続々書誌学のすすめ―」「東方」四六三号（東方書店）二〇一九年九月～継続中

「摸造の歴史―中国古籍の継承―」「書物と知の組織化」（安形麻里編）二〇一九年度極東証券寄附講座 文献学の世界（慶應義塾大学文学部 二〇二〇年三月 13～20頁）

「東アジアの書物交流」「漢字を使った文化はどう広がっていたのか」東アジアの漢字漢文文化圏（金文京編）東アジア文化講座（文学通信 二〇二一年三月 413～417頁）

「日本の漢籍文化」「岩崎文庫の名品―叡智と美の輝き」（東洋文庫編 山川出版社 二〇二二年二月 86～89頁）

「中国の古典と日本」「漢文教室」二〇七号（大修館書店 二〇二一年四月）

「中国の蔵書家について」「書物・印刷・本屋」日中韓をめぐる本の文化史（勉誠出版 二〇二一年六月 786～806頁）

「中国の蔵書文化と近代図書館」「歴史学研究」（歴史学研究会）No. 1029 續文堂出版 二〇二二年一月



《書評》

『中国出版文化史』井上進 名古屋大学出版会 二〇〇二年一月の書評

『中国文献学の名著』「東方」二五八号（東方書店）二〇〇二年八月

『藏園訂補 邵亭知見伝本書目』清莫友芝撰 傅增湘訂補 傅熹年整理 北京中華書局一九九三年の書評

『中国版本学の一大成果』「東方」二二五号（東方書店）一九九九年十一月

『伯克萊加州大学東亜図書館中文古籍書志』陳先行 上海古籍出版社二〇〇五年の書評

『版本学の粹、そして古籍流動史へ』「東方」二九七号（東方書店）二〇〇五年一〇月

『目録学発微』『古書通例』余嘉錫著 古勝隆一・嘉瀬達男・内山直樹訳 平凡社東洋文庫（二〇一三年七月・二〇〇八年

六月）の書評

『中国文献学に親しむ』「東方」三九三号（東方書店）二〇一三年十一月